

2003年 秋田JCスローガン「“For The Next Semicentennial”

元気あるあきた創造のために志民と共に歩みだそう」

# AKITA JC NEWS

ホームページアドレス <http://www.akitajc.jp>

発行人/斎藤秀光 発行所/(社)秋田青年会議所情報サービス委員会 事務局/秋田市山王2-1-54三交ビル3F ☎(824)7070

## サケ稚魚放流 in 旭川



4月5日土曜日、旭川の添川飛鳥田河川敷公園において、第23回サケの稚魚放流事業を例年通り開催させて頂きました。前日の天気予報では降水確率60パーセントと雨の心配もありましたが、天候に恵まれ、また、この事業は秋田市クリーンアップ作戦の10回目を機に始まってから、今年で23回目を迎え、市民の方々にも定着したようで、多くの参加者にも恵まれました。

新社会システム創造委員会メンバー、同室のP.C.Aア

クションプラン策定委員会のメンバーを中心に、会場のごみ拾いを行い、定刻10時には斎藤理事長の挨拶と説明があり、事業が始まりました。秋田市農林部長赤川様からご挨拶を戴き、その後、華やかな奈良依子委員司会のもと、佐藤尚二委員がサケ男、私、熊澤まゆこがサケ子を演じ、アトラクションが行われました。アトラクションではサケが産まれてから川に帰ってくるまでを説明し、放流する稚魚がふるさとに帰って来られる様に、「キレイな川をみん

なでつくりましょう」と集まった子供たちに呼びかけました。

そして小畑委員長からの注意事項の後、集まった子供たちは、今年も8万尾余りの稚魚を嬉しそうに、また旅立つ稚魚に声をかけながらバケツから旭川に放流していました。

何度も何度も列に並びなおしては、サケの稚魚を放流して置き、開始から約30分程で無事放流を終了しました。

私ははじめてこの事業に携わり、子供たちの純真無垢な姿をみて、この事業のもつ意味を感じ取ったような気がします。

最後になりますがOBのみなさまと現役メンバーの多数の参加とご協力、ご支援のおかげで事故もなく事業を終えることができました。本当にありがとうございました。

新社会システム創造委員会 運営幹事 熊澤まゆこ



## 上期面接式開催～8名の入会～

去る、3月27日(木)18:00より秋田キャッスルホテルにおいて、2003年度上期面接式が8名(賛助会員1名)の入会希望者が参加のもと、厳粛な雰囲気の中で開催されました。

今回の面接式及びJCスクールは、「将来を担う会員の拡大」をLOM全体で考えていく観点から、理事以上の方々は元より、他のメンバーにも理解と関心を持って戴く為、式の参加のお声掛けした結果、年度末のお忙しい中、多数の皆様のご参加を戴き、盛大な面接式となりました。

今年の入会希望者は、スポンサーの方々も太鼓判を押すように皆さん優秀で、三役との個人面談でも、物怖じせず、自分の考えを堂々と、しっかり発言されていました。

面接式では、始めに斎藤理事長から、今の厳しい経済状況の中、勇気をもって青年会議所の門戸を叩いて戴いた御礼と入会時に立てた目標を達成する為に、志を高く持ち、所定のJCスクール、出席義務例会を全て出席して、理事会の承認を得て、晴れて正会員として一緒に活動できる事を期待しているとの挨拶があり、深沢直理事長からは、JCに入会すれば何かを与えてくれると言う受け身の考えではなく、自分から積極的に人や活動に関われば、期待以上の物を得られるし、また与えてくれる団体であるとの話でした。

続いて、スポンサーから入会希望者の紹介と入会希望者本人の力強い抱負を語って戴きました。

引き続きの名刺交換では、ご出席戴いた山形先輩から秋田JCの50周年という歴史と伝統を誇りに持ち、一日も早くJCマンとして活躍される事を期待しますとの激励もあり、和やかな雰囲気の中、盛会裡に終了致しました。

会員拡大委員会 副委員長 渡辺 憲介



## JCスクール1校時

無事、仮会員の面接式も終わり、JCスクールを行う事となりました。今回は、3回のスクールで、仮会員の方によりJCを理解していただき、JCでの活動をスムーズに行えるように、そしてサポートできるようにプログラムしてあります。当初は、3回のスクールは、委員会メンバーを3班に分けて、それぞれが1回ずつ担当するように、メンバーの負担を軽くできるようにしてありました。しかし、「JCメンバーみんなで勧誘、みんなでフォロー」という理事長のお考えのもとに、理事長以下委員長まで、スクールに参加という事になりました。という事で、当然、私達委員会メンバーは、3回とも全員参加という事です。

さて、1回目のJCスクールを4月4日18時から、キャッスルホテルで開催させて頂きました。仮会員の皆さんは定刻に余裕をもってご集合いただき、スクールのスタートです。仮会員の皆の緊張した面持ちを見ていると、JCに入会した頃の事を思い出しました。やはり、すごく緊張して、どんな所だろうと、ワクワクした、そんな気持ちを忘れていたことに、気付かせてくれました。

そんな、緊張した、真剣な仮会員を前にして、委員長達も額に汗しながら、一生懸命説明してくれました。

JCエクリードの解説、JCソングの歌唱指導、50周年の事業、「HANAUTA」のビデオ鑑賞と内容も盛りだくさんで、9時までのスクールはビッシリでした。仮会員、担当いただいた理事メンバーの皆さんお疲れさまでした。

会員拡大委員会 中村 康子



## 4 月 定 例 会

平年より3日早く桜の開花宣言の出された4月16日(水)、51年前の秋田JC創立日にニューグランドホテルにおいて、4月定例会を開催させて頂きました。

本例会では、TOYP事業を初心に立ち戻って見つめ直すという主旨のもと、前半 How To TOYP として、TOYP事業の歴史、及び秋田JC TOYP大賞歴代受賞者の受賞内容、現在の活動を紹介し、後半に取手JC OBであり、1996年日本JC TOYP大賞受賞者であられる鎌田裕十郎先輩を講師にお招きし、講演を行いました。

講演ではTOYP受賞理由である「難民救済を含め被災地への医療救援」の説明をプロジェクターにて投影された判りやすい画面にて話され、一部報道だけでは判らない生々しい現状に対してのギャップにショックだったメンバーもいたようです。

又、医療救援活動だけでなくJCに対する熱い想いもお話していただき、「JCとは進んで自己研磨する場所」ということを、佐々木委員長を初めとする委員会メンバーや仮会員を含む出席メンバーにも再認識または心に深く刻まれたのではないかと思います。

例会最後にはアンケートも実施し、今後の委員会活動の重要な指針とするべく集計、整理中です。

最後に「まちづくりは人づくりから」のスローガンで始まった秋田JCのTOYP事業は、これからも継続させ、

理解してもらい、もっともっと広めて行くことが重要であり、更に光り輝く事業になるのではと思っています。

TOYP事業推進委員会 松本 大



## TOYP大賞受賞者近況報告

先日の4月例会では多くのメンバーにご参加して戴きまして、ありがとうございました。皆さん、TOYPについての理解が深まりましたか？

さて今月は、第1回目(92年度)のTOYP大賞受賞者、阿部欣哉さんをご紹介します。阿部さんは、フェンシング選手・指導者でバルセロナ五輪の日本代表としても参加されております。

現在、市役所にお勤めされながら、市立体育館、スポーツ会館等で教育委員会主催のフェンシング教室を続けられております。

秋田ジュニアフェンサーズと銘々された阿部さんのクラブチームは、すでに9期生を数え、第1期生は日本代表に選出され、また昨年2002年度全国中学生大会においては、クラブメンバーが中核をなす秋田南中学校が優勝、国体でも22年ぶりに優勝に貢献、とますます指導者としての存在が際だってきたようです。

一方、阿部さんご自身もこの後、ドイツ、ポルトガル、韓国等に転戦し、ナショナルチーム選抜入りが出来るよう頑張っておられます。

尚、選手生活は残念なことに今年をもって、区切りを付けるご予定だそうです。今後は市役所チームを率いて更なる後進への指導に努めるとのことでした。



秋田JCのメンバーには、大会が開催されたおりに、是非観戦をして戴きたいと共に、フェンシングの普及を促すイベントの開催の際には是非ともご協力戴きたいをお願いをされました。

最後に阿部さんにとっての座右の銘をお伺いすると「初心忘れるべからず」という言葉を戴きました。今後も更なるご活躍をご期待いたします。

TOYP事業推進委員会 委員長 佐々木寛人

## 働くおねえさん

今月の「働くおねえさん」は、人間力開発推進委員会の籠谷和加子さんです。

先月号は新しい会社でしたが、今月は老舗中の老舗です。どんなお話しになるのでしょうか？

情報：アンティークな調度品があちこちにあってすごく癒されますね。早速ですがお店を紹介して下さい。

籠谷：はい、店名は「いくよ」と言います。JCの方々には度々ご利用戴き、ありがとうございます。ペコリ♪

情報：創業はいつ頃なんですか？

籠谷：祖母が大正14年に創めまして今年で78年になります。赤穂浪士討ち入りの12月14日が開店記念日なんですよ。

情報：今にも赤穂浪士が入ってきそうな雰囲気ですね。料亭ですから仕事の内容は大体分かるのですが…

籠谷：夜のお座敷での会席、郷土料理の他、お昼の重ね重のお弁当、冠婚葬祭のお料理膳も出させて戴いております。

情報：その中で籠谷さんの役割は？

籠谷：お座敷に出ることはありません。当店は、年配のスタッフが多いので自然と力仕事は私が引き受けております。私がぐ〜んと平均年齢を下げてるんですよ。(笑)

情報：ベテランのスタッフのサービスはちょっと有名ですよ。ところでお休みはあるのですか？

籠谷：お店はほとんどが御予約なので基本的には年中無休

です。予約との兼ね合いもあって私の休みは、2・3日前くらいに決まる事が多いです。店のスタッフはローテーションを組んでいますが、用務員のお姉さん(?)は、何時も補助要員なので不定休なんです。そのような日々ですが、休みの日は貯め置きしてある本や雑誌を読んだり、ふと思いついて筋トレ!?をしてみたり、料理やケーキをドタバタ♪ガチャガチャ♪やらかしながら作っております。一応、調理師なので、なんとか食べれるものができますよ。(笑)



情報：今度ぜひご馳走して下さいよ。JC活動について一言。

籠谷：浅〜く長〜く在籍しております。深〜い時もありましたが…あ〜と言う間に16年目!!来年、いよいよ卒業というところまできちゃいました。JCを通して多くの素敵の方に会えたのが、何より良かった事です。おかげ様で良しにつけ、悪しにつけ、私の知らない世界の扉が色々開いて、広がりました。JCメンバーとの結婚は無かったですけど…(爆)

情報：メンバーと良く行くお店とかありますか？

籠谷：特別「ここダッ!」というお店はありません。

どうしても夜の仕事なので委員会・例会等参加するにも難しい時が多いのですが、JCで出た時は一緒の方に付いて行き、勤められるままにグビグビ飲みます。

情報：ひゃーっ、恐るべし紅の会!さて、次回の働くおねえさんをご紹介戴けますか？

籠谷：今年度、委員会でご一緒させて戴いている熊澤あゆみさんを紹介致します。

情報：今日はお忙しいところ、ありがとうございました。  
取材情報サービス委員会 副委員長 星 章夫



## 5月例会案内

来る5月14日(水)アキタニューグランドホテルにて新社会システム創造委員会の担当で5月例会が開催されます。

5月例会では商店街を基盤としたまちづくり活動をされている株式会社商店街ネットワーク取締役社長木下斉氏を講師にお迎えし、『創ろう 活力ある元気なまち「あきた」』をテーマに行われます。

今年度、新社会システム創造委員会では活力のある地域づくりにむけた新社会システムの構築に取り組んでおりますが、その一環として3月に市民を対象に行った地域の課題を探るアンケートでは「中心市街地の活性」を求める声

が多く聞かれました。今例会は、課題を踏まえ元気なまち「あきた」を実現する具体的な行動を検討する良い機会になると思います。また、講師の木下氏は現役大学生ということで、若く「元気」あふれる例会になると思います。

みなさんのご参加をお待ちしております。

日 時：2003年5月14日(水) 18：30～21：15

場 所：アキタニューグランドホテル

テーマ：創ろう 活力ある元気なまち「あきた」

講 師：(株)商店街ネットワーク取締役社長 木下斉氏  
新社会システム創造委員会 委員長 小畑 宏行

## 編集後記

本年度4回目のJCニュースを無事発行でき安心しました。原稿をお願いした皆様には大変ご迷惑をおかけしました。本当にありがとうございました。

私も本年をもちJC卒業となりますが、毎月JCニュースを拝見するのが楽しみでしたが、今年、発行する側を担当させていただき、皆様のご苦勞がよくわかりました。残り8回、委員会メンバー全員で精一杯がんばりたいと思います。

情報サービス委員会 佐藤 一美